

2008.7.27 晴れのち曇り 鈴鹿・神崎川—下谷尻谷—コリカキ場—お金明神—神崎川
SHC 例会



林道より川に下りて出発



神崎川を溯る

下谷尻谷を溯る



809 林道 P 830 神崎川 1002 下谷尻谷出合
1138-1220 コリカキ場・昼食 1247 お金峠
1300-1317 お金明神 1406 神崎川 1529 下
谷尻谷出合 1626 神崎川 1648 林道 P



下谷尻谷を溯る



コリカキ場

鈴鹿の谷の第二段で泳ぎと飛び込みありとの事前情報。結果的には、天狗滝での飛び込みは遠慮して高巻きでクリア。

花崗岩の川・谷は本当にきれいな水を持っている。



お金峠



お金明神



お金明神からの下り



神崎川沿い登山道の標識



登山道から谷沿いに下ったが、厳しい



ヒロ沢出合

神崎川を溯って行くと下谷尻谷の出合手前で泳ぎを経験、フローティングベスト着用し、ザックを担いでの泳ぎは初体験。10mくらいであったか、必死に平泳ぎで泳ぐが、なかなか前に進まない。疲れ果てて漸く足のつくところに。コリカキ場まではときどきロープに頼る場面もあったが、なんとかこなす。お金峠を越え、お金明神でお参りする。石でできた明神さまの横顔りっぱ（写真集参照）。ここから神崎川に下りる。が、登山道は神崎川と

並行しているので適当なところから川に下りることになる。選んだ谷は川に下りる直前5mくらいは絶壁に近い急な下り（前P写真）。



神崎川を下る



下谷尻谷手前の天狗の滝



神崎川から林道Pへの上り口



途中にある標識

ゆったりとした神崎川を下る。途中に泳ぎ（飛び込み）もある。天狗の滝に着く。わたしはこれまでの小さな飛び込みでも苦勞してきたので、高巻きの道を選ぶ。地図とおりに右岸に登山道があり、かつ、危険の標識があったが、天狗の滝のみの高巻き道もあった。後者の道を選ぶ。危険の標識とおりに、急な斜面をロープを使って上り、下りる道であった。ロープに100%頼るという点では危険な道であった。

下谷尻谷の出合を過ぎ、行きに経験した泳ぎの場所。助言とおりに、立ち泳ぎ（立った状態での犬かきが正確な表現）でゆったりと進む。さすが疲れはあまりないし、浅いところがすぐわかるので精神衛生上もGOODな泳ぎだなと感心する。概ね9時間の山行であった。上半身の疲れが顕著で3日間くらいものすごい違和感があった。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

HOMEは <http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/>

トップページは <http://mametil.googlepages.com/home>